

現行	改訂後	備考
----	-----	----

750-150 管 工 (洗管 I)

<サイクロン工法の特許料について>

・サイクロン工法のうち 消毒費(D10901500600)と給水作業費(D10901500800)には、特許料10%を計上する。

新設管の洗管については、機械式洗管及び普通洗管で行うこと。なお、洗管工の選択にあたっては「洗管選定資料」により行うこと。

特許失効のため
一文削除

「洗管選定資料」

		機械式洗管工法				普通洗管
		ポリック工法	高压洗浄工法	吸引工法	サイクロン工法	
管路条件	対象口径	◎ 75~350	◎ 75~350	△ 75~150	○ 75~350	◎ 75~350
	1スパン洗管延長	◎ (特になし)	△ 200m	△ 300m	○ 500m(75~100) 300m(150~300)	◎ (特になし)
	異口径の対応	× 同一口径	◎ 75~350	△ 75~150	○ 75~300	◎ (特になし)
	曲管の対応	◎ (特になし)	△ 曲管が多い場合不可 (挿入ホースの限界)	◎ (特になし)	○ 伏越が多い場合不可	◎ (特になし)
	樹皮状配管の対応	○ 同口径に限定される	× 作業用立坑が多くなる	× 作業用立坑が多くなる	× 作業用立坑が多くなる	◎ (特になし)
作業用立坑 (1スパン当り)	△ 発進部-1ヶ所	△ 発進部-1ヶ所 (ノズル挿入)	○ 吸引部-1ヶ所 注水部-1ヶ所	△ 吸引部-1ヶ所 注水部-1ヶ所	◎ (立坑不要)	

750-150 管 工 (洗管 I)

新設管の洗管については、機械式洗管及び普通洗管で行うこと。なお、洗管工の選択にあたっては「洗管選定資料」により行うこと。

「洗管選定資料」

		機械式洗管工法				普通洗管
		ポリック工法	高压洗浄工法	吸引工法	サイクロン工法	
管路条件	対象口径	◎ 75~350	◎ 75~350	△ 75~150	○ 75~350	◎ 75~350
	1スパン洗管延長	◎ (特になし)	△ 200m	△ 300m	○ 500m(75~100) 300m(150~300)	◎ (特になし)
	異口径の対応	× 同一口径	◎ 75~350	△ 75~150	○ 75~300	◎ (特になし)
	曲管の対応	◎ (特になし)	△ 曲管が多い場合不可 (挿入ホースの限界)	◎ (特になし)	○ 伏越が多い場合不可	◎ (特になし)
	樹皮状配管の対応	○ 同口径に限定される	× 作業用立坑が多くなる	× 作業用立坑が多くなる	× 作業用立坑が多くなる	◎ (特になし)
作業用立坑 (1スパン当り)	△ 発進部-1ヶ所 到達部-1ヶ所	△ 発進部-1ヶ所 (ノズル挿入) 到達部-1ヶ所 (ノズル挿入)	○ 吸引部-1ヶ所 注水部-1ヶ所 【水栓・消火栓有りの場合立坑不要】	△ 吸引部-1ヶ所 注水部-1ヶ所 【水栓・消火栓の使用できない】	◎ (立坑不要)	